

# 道徳科 学習指導案

指導者

1. 日時 令和4年 9月 29日(木) 第2時限
2. 場所 第4学年3組教室
3. 学年・組 第4学年3組(38名)
4. 主題名 【みんなが気持ちよく】規則の尊重
5. 単元(題材)名 雨のバスでいりゅう所で(教科書:光村図書)
6. 単元(題材)の目標

並んでいた人たちを抜かしてバスに乗ろうとしたよし子が自分のしたことを振り返る姿を通して、みんなが気持ちよく過ごすために大切なことについて考えさせ、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする実践意欲と態度を育てる。

## 7. 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値について

私たちは、他者との関わりの中で生活し、互いによりよく生きようとしている。人間が人間として自他ともにより人間らしく生きることができるように約束やきまりがあり、それを守ることは、個人的にも社会的にも欠くことができないものである。しかし、毎日の生活ではつい自分のことばかり考えてしまい、約束やきまりを守ることができないことがある。きまりを守って満足したり、褒められたり、あるいは、はからずもきまりに背いて叱責されたり、罪悪感を覚えたりしながら、約束やきまりに対応する力が築き上げられていく。

約束やきまりは、自他ともに安全かつ安心して気持ちのよい生活を送るためのものである。守らないと誰かが困ったり、迷惑を被ったりすることを理解し、周りの人のことを考えて約束やきまりを守ろうとする態度を育てることが大切である。

### (2) 児童について

本学級の児童は、学習や生活の場で、決まりを守りながら意欲的に動くことができる児童が多い。

また、決まりを守ることができていない児童や、やるべきことができていない児童に注意をし、規律を守るようにと働きかけることができる児童も多くいる。しかし、朝の用意をせずに外へ遊びに行ってしまう児童や、話を聞く場面で「静かにして。」とクラスメイトに注意されても喋り続ける児童など、私欲に走る児童もいる。先生やクラスメイトに注意をされた際、素直に聞き入れ反省する様子は見られるが、それでも自分本位で行動してしまう姿が日々見受けられる。

今月、「スーパーモンスターカード」を題材にした道徳の授業を行った。そこではルールやきまりを守れていない人がいたら注意することが大切だということを学んだ。振り返りには「ルールやきまりは守り、守れていない人がいたら注意しようと思った。」や「正しいことを伝えることは相手のためだけでなく自分のためにもなると思った。」などといった意見があった。しかし実際にはまだまだ自分本位に行動してしまい、ルールやきまりをおろそかにしている姿も少なくない。そこで本教材を通して、なぜルールやきまりを守ることが必要なのか、なぜきまりはあるのかを考え、公德を大切にすることを育てていきたい。

### (3) 教材について

児童と同じ年頃の女の子「よしこ」が主人公である。雨の日に、母親とバスで出かけることとなるが、バスに乗車する順番のことで、問題が起こる。軒下でバスを待っているとき、バスが到着したとき、母親に連れ戻されたとき、バスの中で母親の顔を見たときなど、場面に変化するよし子の気持ちに共感させながら考えさせたい。自分の置かれた状況によって、きまりを守れたり、守れなくなったりしてしまうことにも目を向けさせたい。

導入では、きまりというものに対し児童自身がどのように感じているのかを考えさせ、自身と重ねて考えられるようにする。展開部分では、よし子の行動と気持ちを整理しながら物語を読み、きまりを守ることがどういうことなのかを考えさせる。終末では、きまりはどのようにしてあるのかを考えさせ、約束やきまりを守ろうとする態度を育てたい。

## 8. 評価の観点

- ・ノートの記事やペア交流で自分の考えを深めているか。
- ・自分の行動を振り返り、今後の生活に学びを活かそうとしているか。

9. 本時の展開

時間	学習内容・学習活動	◎主な発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きまりに対し持っているイメージを考える。</li> <li>・めあての確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎みんなはきまりとはどのようなイメージですか？</li> <li>・守らないといけないもの</li> <li>・めんどくさいもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正直な気持ちを考えさせ、物語を読むときに自身と重ねて考えられるようにする。</li> </ul>
<p>めあて：きまりがなぜあるのかを考えよう</p>			
展開 33分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の範読を聞く。</li> <li>・物語の登場人物やよし子の行動を整理しながら、よし子の気持ちを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎登場人物は誰ですか。</li> <li>・よし子</li> <li>・お母さん</li> <li>・バスに乗る人たち</li> <li>◎天気はどうでしたか。</li> <li>・雨が降っている。</li> <li>◎軒下で雨宿りしていたよし子は、どのような気持ちでバスを待っていたと思いますか。</li> <li>・早く来ないかな？</li> <li>・濡れたくないな。</li> <li>◎バスが見えた時よし子はどうしましたか。</li> <li>・停留所の先頭に並んだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞きながら挿絵を提示する。</li> <li>・よし子だけでなく他の人たちも同じ気持であったことに気付かせる。</li> </ul>

	<p>・よし子の状況を振り返りながらその時々的心情を考える。</p> <p>・お母さんの顔を見て自分のことを考え始めたよし子がどんなことを考えていたかを考える。</p>	<p>◎その時よし子はどのような気持ちだったと思いますか。(問1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やっと乗れる!</li> <li>・先頭に並べば座れる!</li> </ul> <p>◎よし子がバスに乗ろうとした時、何が起きましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんに肩を引かれた。</li> </ul> <p>◎お母さんが並んでいたところまで連れていかれたよし子はどのような気持ちでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じりじりした気持ち</li> <li>・なんで早く乗ってくれないんだろう?</li> </ul> <p>◎バスに乗った時のよし子はどのような気持ちだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あーあ座れなかった。</li> <li>・残念な気持ち</li> </ul> <p><b>中心発問</b></p> <p>◎よし子は自分がしたことを考え始めましたとありますが、どのようなことを考えたでしょうか。(問2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんはどうして怒っているのだろう?</li> </ul>	<p>・他の人の気持ちをここで考えさせる。</p> <p>・深く聞く。 (どうして?何のこと?)</p>
--	--	--	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よし子と他の人の違いを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分がなにかしたのかな？</li> <li>・先頭に並んだことが悪かったな。</li> <li>・他の人は並んでいたのかな？</li> <li>・走らなければ良かった。</li> </ul> <p>◎よし子の行動は誰がいい気持ちになる行動だったのでしょうか。他の人の行動はどうでしょうか。</p>	
<p>終末 7分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めあてをもう一度確認し、きまりがなぜあるのかを考える。</li> <li>・振り返りを書く。</li> </ul>	<p>◎きまりはなぜあると思いますか。</p> <p><b>(問3)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが気持ちよく過ごすため。</li> <li>・人に迷惑をかけないようにするため。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材から考えるだけでなく、児童の経験も重ねて考えさせる。</li> </ul>